

心遣いに感謝いたします Vol.12

作日は、3 学期の始業式のある日でした。冷たい小雨の交じる中での朝の登校でしたが、会釈をしながら挨拶をして門を通る児童が多く、すがすがしい気分で初日を迎えることができました。夏休みに比べると短い期間の冬休みでしたが、どの児童も、少し背が伸びているように感じました。始業式では、健康維持に関すること、悔いなく1年間を締めくくることが、初心に返り、「あいさつ」と「かかとをそろえて下足箱に靴を入れること」をメインに、励ましの話をしました。そして、放送室から校長室にもどると、新学期早々、地域の方が、お花を生けに来てくださっていました。

校長室に生けられた、中央は、香り高貴な日本スイセン。下部の葉は、ヤナギバヒイラギナンテン。まっすぐに上に伸びる枝ものは、日向（ひゅうが）ミズキです。蕾の先が尖っていますが、ふっくらしていてとてもかっこいいです。華麗で黄色い花が咲くまで長生きしてほしいです。



児童下足室前に生けられた、左の大きな枝ものは、校長室と同じくヤナギバヒイラギナンテン。育つと中央に黄色い花を付けます。中央の白い花は、みなさんご存知のカスミソウ。贈り物等、万能選手でドライフラワーにもできます。右の黄色い花は、ランキユラス。ラックスという、花に光沢のある品種が、今、大人気になっています。

職員用玄関に、用務員さん育て、来客を出迎えてくれている、左上が、自生のオタフクナンテン。ヒイラギナンテンと同様、縁起物の植物です。晩秋からの紅葉が美しいです。また、右下のカニの爪がたくさん集まったような植物が、シャコバサボテン（別名：デンマークカクタス）です。芽摘みをするとう毎年咲きます。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくりは人づくり。感謝申し上げます。